

## 4 木管楽器～Flute族

### 【Fluteについて】

#### 《楽器の構造》

Flute は木管楽器に分類されるが、現在の材質は金、プラチナ、洋銀（銅とニッケルの合金）等の金属製が主流であり、黒檀など木製もある。全長は約70cmで（第3章《管の形状とその働き》の項参照）、三つの部分に分かれる。

Head Joint…吹口には Lip plateがある

Body (middle) Joint…多くの音孔がある本体部

Foot Joint…cis, c音を出すため伸びた部分

Flute は本来D管だが、最低音を長2度下のcまで拡げるためにFoot Jointがつけられた。

各音孔にはタンポと呼ばれる蓋（key cup）がついており、これをそれぞれのkeyで開閉する。オクターブ内の半音階それぞれに対応する全ての音孔に、このしかけがついている（key-mechanism）。しかし最近の楽器には、16孔のkey cupのうち5孔に「Ring key」と呼ばれる穴があいているものもある。この種の楽器は、ある音域では（半音の間の）微分音程を出したり、ポルタメントしたりもできる。

#### 《発音原理・音域》

FluteにはいわゆるReedがない。第3章《Reedについて》で説明したように、「Air-Reed」楽器である。

開管（円筒管）であるFluteの共鳴は、基音1波長—1/2波長—1/3…（周波数比では1—2—3…の整数倍）で起きる。最初の1オクターブを基底音階とするオーバーブローイング（同じ指使いで出す倍音）によって、下記のように約3オクターブの音域が出る。